

MTEXによる再計算極点図の方位密度の低い部分の扱い

2018年09月23日

HelperTex Office

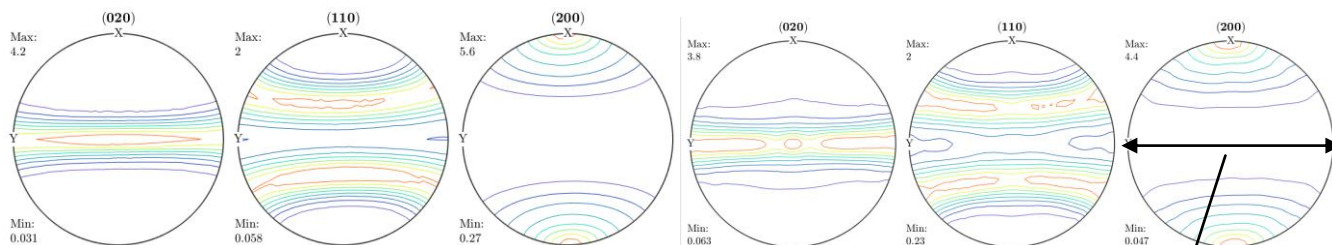
概要

ポリエチレンのODF解析を行っていた時、方位密度の低い再計算極点図の極密度が異常に下がる傾向が Rp%に影響を与える事に気がなったので、系統的に調べてみました。

状況

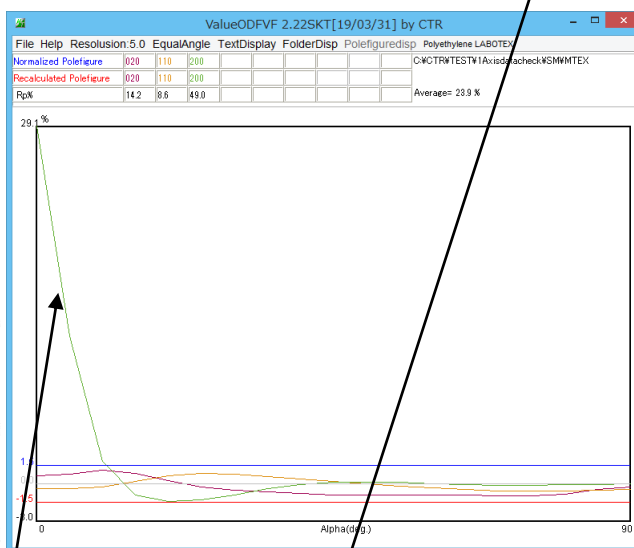
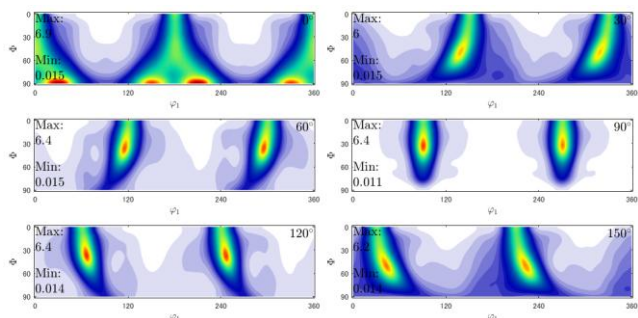
入力極点図

再計算極点図

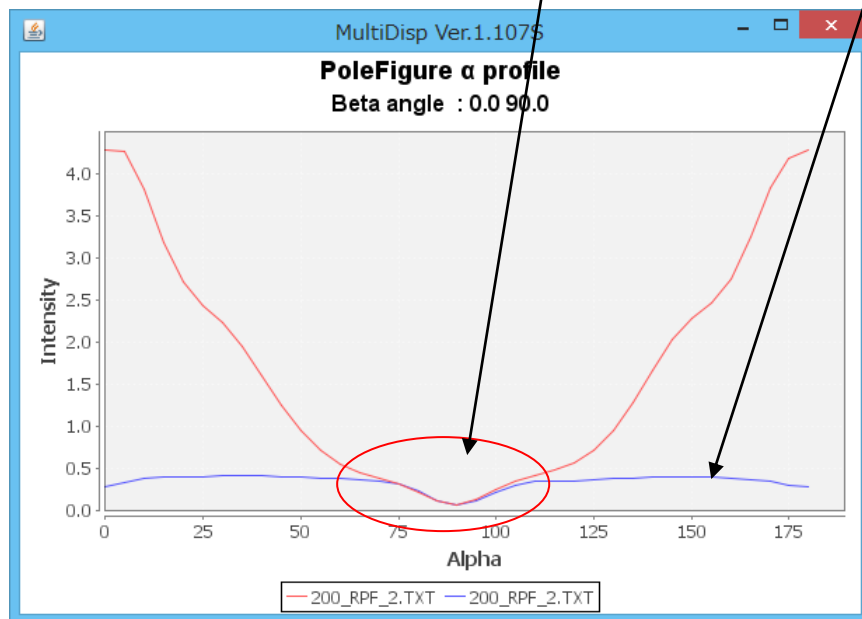


ODF

ValueODFVFによる Rp%

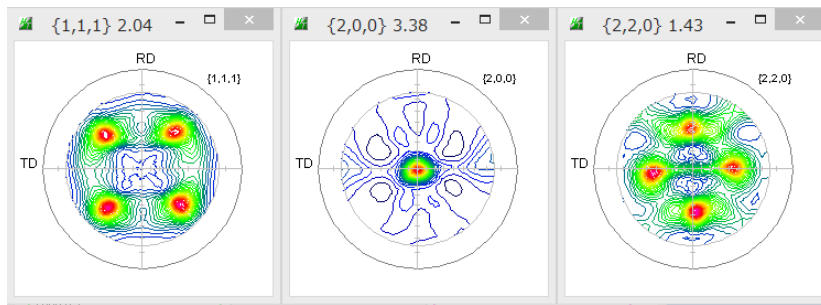


{200}極点図のアルファ方向プロファイル

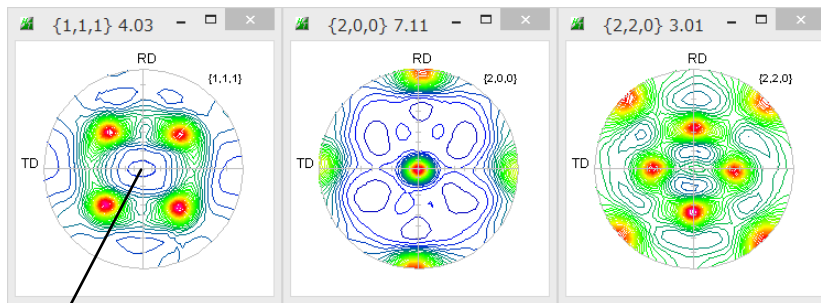


CTR:¥DATA¥ODFPoleFigure の Cube 強いアルミニウム

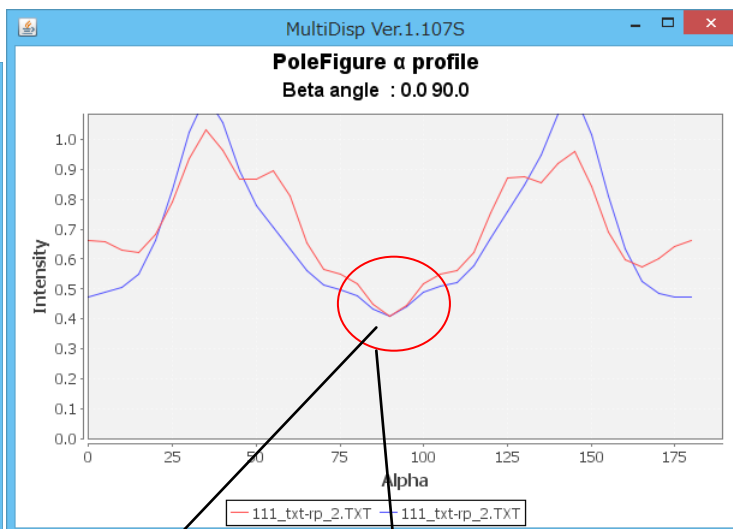
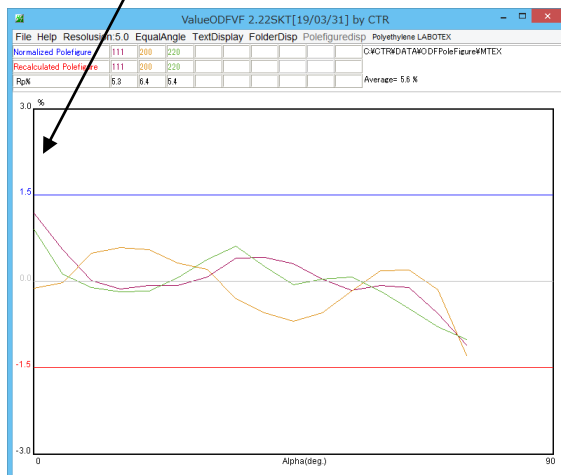
入力極点図



MTEX による再計算極点図



Rp%評価



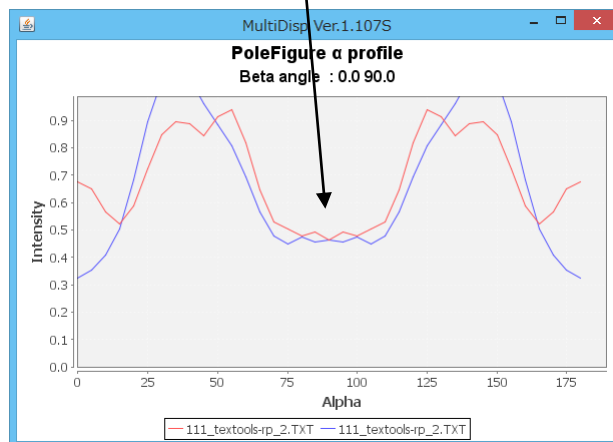
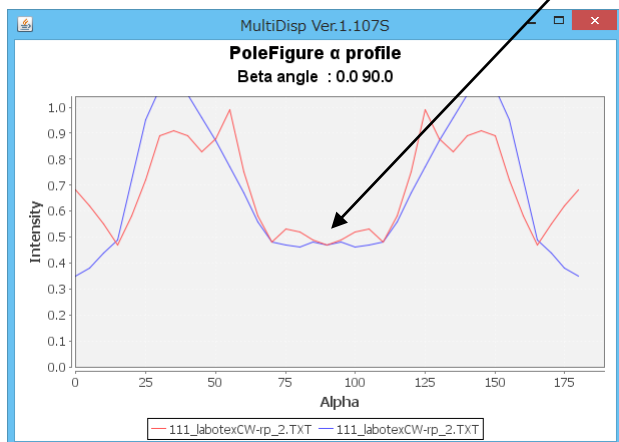
111	200	220							
5.3	6.4	5.4							

Average= 5.6 %

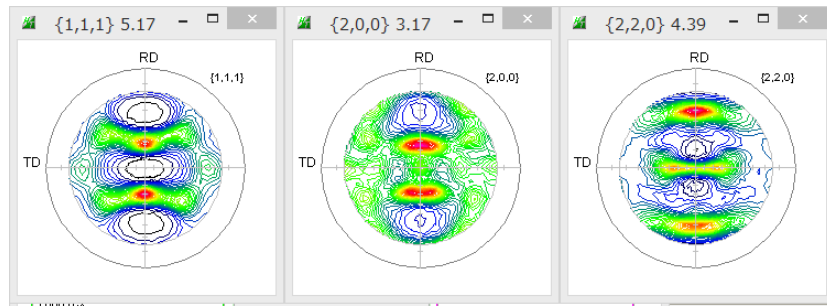
PE と同じ現象が発生する。

LaboTex の場合

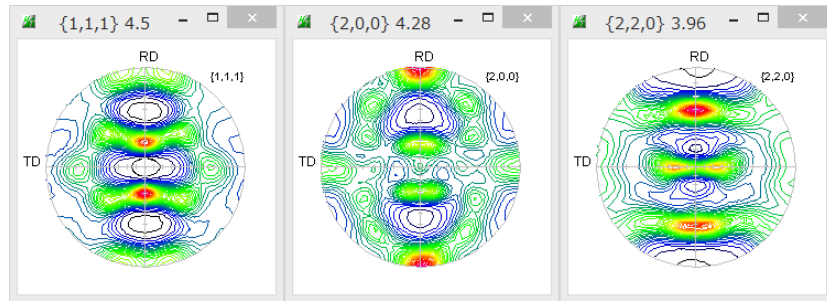
TexTools の場合



CTR:¥DATA¥ODFPoleFigure2 の β -Fiber アルミニウム

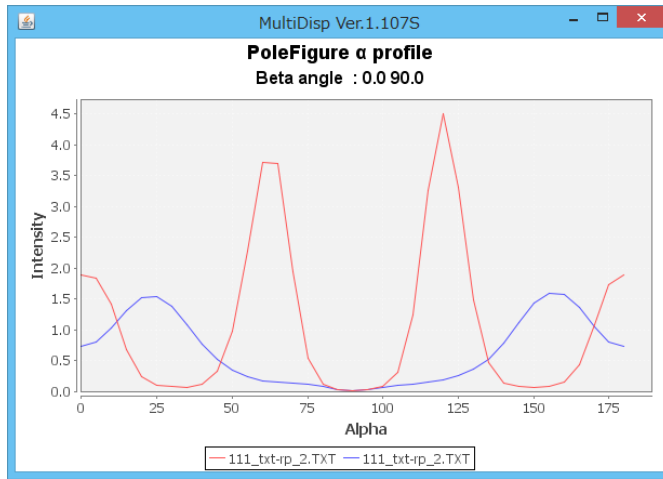
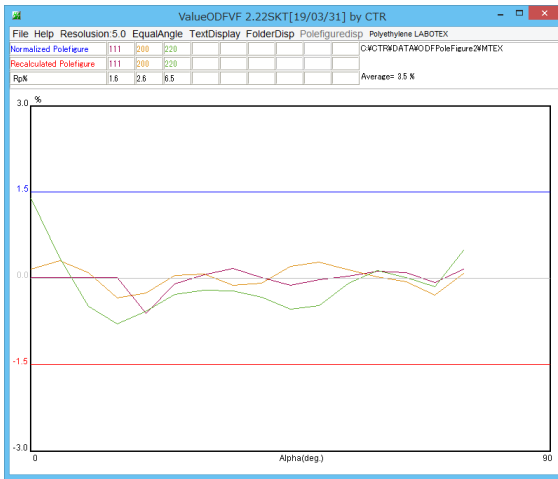


入力極点図



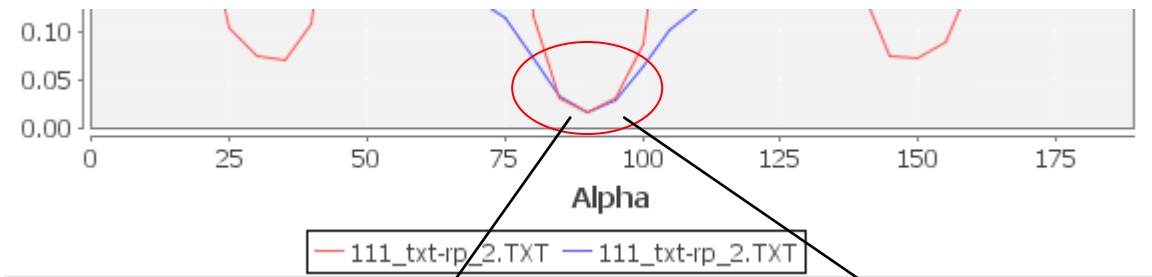
再計算極点図

Rp%評価

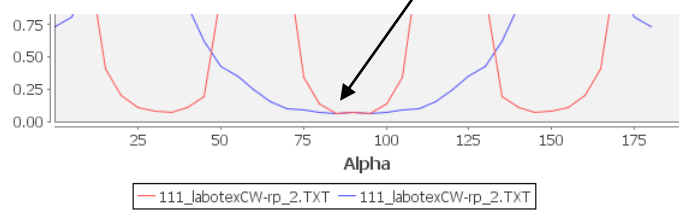


111	200	220							
1.6	2.6	6.5							

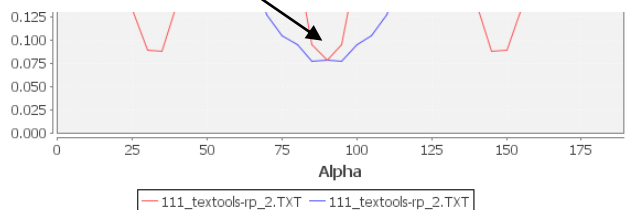
Average= 3.5 %



LaboTex の場合



TexTools の場合



ポリエチレン、Cubeが多いAl、 β -Fiberが多いAlで同様の傾向が見られる。